

北ア広 20 ご第 34 号  
平成 21 年 2 月 27 日

白馬村新ごみ処理施設を考える連絡協議会  
会長 宮田 温巳 様

北アルプス広域連合  
連合長 牛越 徹

### 「広域の枠組みの維持」発言についての公開質問状への回答について

平成 21 年 2 月 23 日付けでいただいた標記公開質問状について、以下のとおり回答します。

広域連合では、貴会のみではなく、住民の皆様からいただいた様々なご意見やご提言を十分踏まえた上で、議会や関係市村とも十分協議し、今後の事業の進め方を判断することとしております。

#### 記

##### 1)について

広域連合では、ごみ処理広域化について、平成 10 年 8 月に「大北地域広域市町村圏ごみ処理広域化計画」を策定して以降、平成 16 年度には学識経験者や住民代表で組織された委員会により「ごみ処理広域化基本計画」を策定する等、様々な手順を踏んで作業を進めてまいりました。

こうした中、今回の住民アンケート調査は、アンケートの設問でも明らかなとおり、広域化計画のうち、飯森地区を建設候補地として事業を進めていくことに対する考えを住民の皆様にお尋ねしたものです。したがって、広域連合では、広域化計画と飯森地区への建設は、まず別の次元として取り扱うべきものと考えております。

広域連合では、今回の調査結果を真摯に受け止め、今後候補地の再検討をどのように進めるかについて、関係市村、議会とも十分協議し、3 市村の共同処理のあり方を含め、総合的、多角的に検討してまいりたいと考えています。

##### 2)について

1)でお答えしたとおり、アンケートの結果は「広域化を含む建設計画そのものの全面的見直しを求めている」とは判断できないと考えております。今後、アンケート調査の結果をきちんと分析するなどして、総合的、多角的に検討いたします。

##### 3)について

今後、広範なご意見をお聞きして検討してまいります。